

銀の皿

「愛と勇気」



今から10年前、社会人時代の話です。夏バテからだったと思うのですが、体調不良になり、職場を休みました。そこで病院に行く事にしたのですが、そこは小児科兼内科の小さな病院でした。診察の結果、点滴を打ち、お薬をだしていただくことになりました。そして点滴の時間、そこにあったテレビにふと目をやると、アンパンマンが流れていました。最初はなんとなく見ていたのがだんだん食い入るように見て、なぜか涙が止まらなくなりました。もしかしたら心も弱っていた上に、点滴室は誰もいなかったからかもしれません。私が感動したのはアンパンマンの助けを求めてくる人への姿勢でした。

内容はうろ覚えですが、遠く離れた国の王様とお姫様を助けるような内容だったと思います。彼は初めて出会った人のまだ良くわからない状況をその時聞いて、助けると即決したのです。何故助けに向かったかと言うと、助けを求めて来たらからです。そんなヒーローの姿に感動しました。当たり前の事が実は当たり前では無い。変な事を書いている様ですが、そんなことに気づかされる時があります。この時正直に言うと、フルタイムの献身から逃げていました。牧師としての道を開いて下さっている神様から一生懸命耳をふさいで生きていました。こんな罪びと使い物にならないと思っていたのです。いつでもどこでも助けに来て下さるイエス様。いつも一緒に居るよという背後に傷だらけになり、血だらけになって私の罪の為に戦ってくれ

たイエス様。そのイエス様は私に「魂の救いの為に一緒に歩いていこう」と語り掛けて下さったのです。私はこのイエス様には勝てないと思いフルタイムの献身を決心したのでした。

このアニメの歌の歌詞に「愛と勇気だけが友達さ」と言う言葉があります。しかしそれは言い換えるとそれ以外(愛と勇気)は何も依存しないという強い意志が表されています。私達は何かに依存しないと生きていけません。イエス様中心、わかっていても人生に傷つき打ちのめされる時に、その心が揺さぶられる時があります。何か別の事に頼りたい衝動が起こり時にはイエス様が喜ばれない事をしてしまいます。しかしイエス様はその愛によって永遠に友達なる事を選んで下さいました。罪びとの私でさえもです。クリスマスはイエス様のご降誕をお祝いする日であると共に、その意味をさらに深く味わう時もあります。私の為にお生まれになったイエス様、その愛と勇気がさらに皆さんのに信仰を前進させるものとなるように、お祈りいたします。

マタイ 28:20

また、わたしがあなたがたに命じておいたすべてのことを守るように、彼らを教えなさい。

見よ。わたしは、世の終わりまで、いつも、あなたがたとともにいます。

